みんなの議会 お知らせ版

一般質問：令和３年６月１７日（木）13：00～

３年２定号

順番	質問者	質問項目	答弁者
1	畑地議員	「ゼロカーボンシティ宣言」を求める	町　長
2	鵜野議員	暮らしの安心センター木梁のひび割れ原因と今後の対策	町　長
3	上野議員	町民が理解しやすい施設や事業の名称にすべきと思う。	町　長
4	上野議員	沼田町の産業を発展させ人口増にすべきと思う。	町　長
5	高田議員	高穂スキー場整備計画はこれでいいのか	町　長 教育長
6	久保議員	『除雪組合』を作り、除雪の空白地帯を作らない。	町　長
7	伊藤議員	地域おこし協力隊の将来を見据えた支援について	町　長
8	篠原議員	安心センターの屋根雪下ろしに基準の再検討が必要では	町　長
9	篠原議員	職員と来庁者の健康を守るために換気型の冷房が必要では	町　長
10	篠原議員	ステイホーム期の文化財普及戦略は	教育長
11	長野議員	学校の働き方改革と沼田の教育の両立を	教育長
12	大沼議員	一般行政（生活困窮者に声がけを）	町　長

令和３年第２回定例会は、６月１７日～１８日までの予定です。

６月１７日　10：00～　一般行政報告（町長）・教育行政報告（教育長）
13：00～　一般質問（１２件）

中途からの入場、中途退場もできますので、お気軽に傍聴下さい。

●議場は役場３階です。ふれあいからエレベーターをご利用下さい。
●議場へお入りの際は手指消毒とマスクの着用をお願いいたします。
●体調に不安のある方は、傍聴をご遠慮下さい。
●ふれあい１階ロビーで、議会のテレビ中継がご覧いただけます。

お問合せ先：沼田町議会事務局

議会スポーツ新聞

交流戦も終わり、日ハムのチーム状態はいま一つだが、こちらの議会は好ゲームが期待される、6月17日13時から試合開始！

メンバー表

打順	位置	背番号	氏名	質問項目
1	ショート	2	畑地　誉	町長から「ゼロカーボンシティ宣言」は引き出せるのか？
2	サード	1	鵜野　範之	あんしんセンターを更に安心にするには！
3	センター	8	上野　敏夫	町民が理解しやすい名称・産業発展に必要なこととは？
4	キャッチャー	4	高田　勲	高穂スキー場整備計画に関係人口へのアプローチを！
5	ピッチャー	3	久保　元宏	除雪組合を作り、オール沼田で雪対策 ☃
6	セカンド	6	伊藤　淳	地域おこし協力隊への支援でもっと定住促進！
7	ファースト	5	篠原　暁	コロナ禍の庁舎内換気と文化財の情報発信＋安心センター
8	レフト	7	長野　時敏	先生は働きすぎ？業務の効率化に町民の協力を(^o^)
9	ライト	10	大沼　恒雄	生活困窮者が増えている、支援策は？

チーム議会　スタメン予想

控え選手

名前	備考
小玉	保健福祉課長
按田	会計管理者
安念	和風園長
荒川	旭寿園長

議会強力打線に、真向ストレートで回答(快投)する町長・教育長は、時折変化球も織りまぜ、いかにかわせるか注目する

審判団

名前	備考
小峯議長	審判長
黒田局長	審判員
中山書記	中継

解説　中村監査委員　球場　役場３階議場でプレーボール

観戦でなく感染対策をして傍聴してください！

本会議場からはふれあい1Fのロビーでも生中継します

令和３年　第２回沼田町議会定例会　一般質問要旨

【町長】

通告順	１	質問議員	畑地議員
質問項目	「ゼロカーボンシティ宣言」を求める		
質問内容	地球環境対策については、３月定例議会で総務民教建設常任委員会から中間報告がありました。 国や各地方行政はもちろんのこと、地球規模で国の垣根を越えて問題解決に向けた取り組みが加速し、２０５０年を目標にしたゼロカーボンシティ宣言を表明する自治体は増加傾向にあります。 他人事でなく自分の事として意識を高めるには、身近にある自治体が率先して牽引する行動を示すことは重要です。 そこで、町長にお聞きします。 ①ゼロカーボンシティ宣言をする予定はあるのか、また表明をするとしたらいつ頃になるか。 ②宣言を前提として、脱炭素につながる基本計画の青写真はあるのか。		

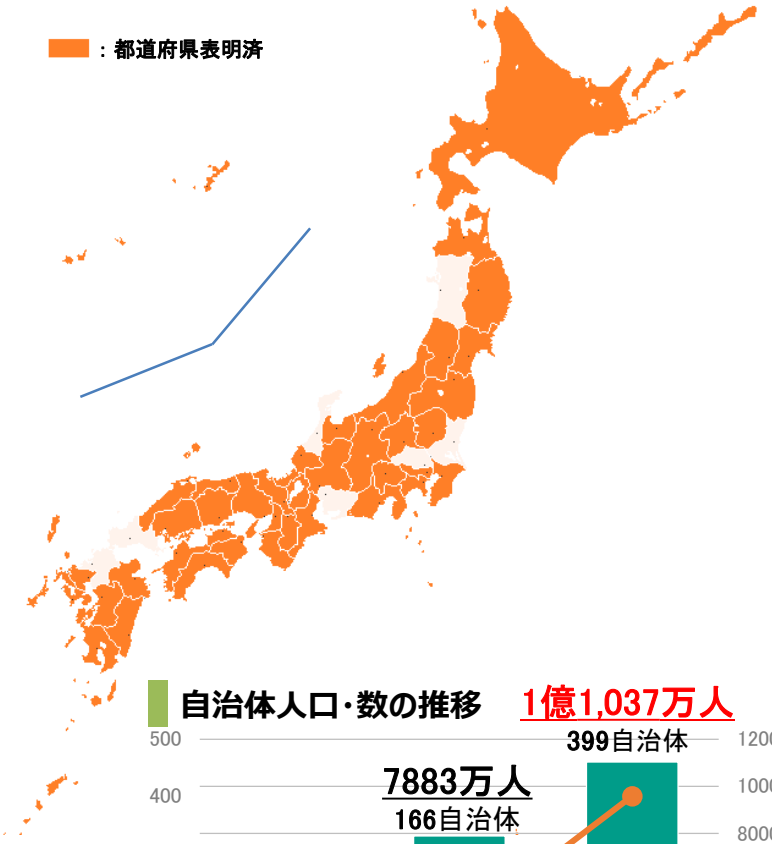
2050年 二酸化炭素排出実質ゼロ表明 自治体　2021年6月4日時点

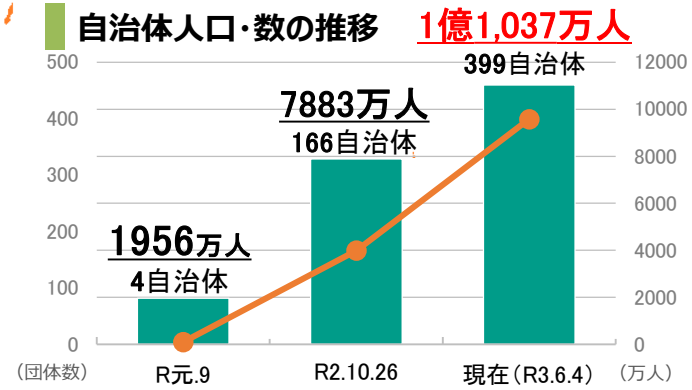
環境省

■ 東京都・京都市・横浜市を始めとする399自治体（40都道府県、236市、６特別区、97町、20村）が「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」を表明。**表明自治体総人口約1億1,037万人**※。

※表明自治体総人口（各地方公共団体の人口合計）では、都道府県と市区町村の重複を除外して計算しています。

表明都道府県（1億72万人）





表明市区町村（5,834万人）

北海道
古平町
札幌市
ニセコ町
石狩市
稚内市
釧路市
厚岸町
喜茂別町
鹿追町
羅臼町
富良野市
当別町
小樽市

青森県
八戸市

岩手県
久慈市
二戸市
葛巻町
普代村
軽米町
野田村
九戸村
洋野町
一戸町
八幡平市
宮古市
一関市
紫波町

宮城県
気仙沼市
富谷市
美里町
仙台市

秋田県
大館市
大潟村

山形県
東根市
米沢市
山形市
朝日町
高畠町
庄内町
飯豊町
南陽市
川西町
鶴岡市
尾花沢市

福島県
郡山市
大熊町
浪江町
福島市
広野町
楢葉町
本宮市

茨城県
水戸市
土浦市
古河市
結城市
常総市
高萩市
北茨城市
牛久市
鹿嶋市
潮来市
守谷市
常陸大宮市
那珂市
筑西市
坂東市
桜川市
つくばみらい市
小美玉市
茨城町
城里町
東海村
五霞町
境町
取手市
下妻市
ひたちなか市
笠間市

栃木県
那須塩原市
大田原市
那須烏山市
那須町
那珂川町
鹿沼市

群馬県
太田市
藤岡市
神流町
みなかみ町
大泉町
館林市
嬬恋村
上野村
千代田町
前橋市

埼玉県
秩父市
さいたま市
所沢市
深谷市
小川町
飯能市
狭山市
入間市
日高市
春日部市
久喜市
越谷市
草加市
三郷市
吉川市
八潮市
松伏町
川越市
本庄市
美里町

千葉県
山武市
野田市
我孫子市
浦安市
四街道市
千葉市
成田市
八千代市
木更津市
銚子市
船橋市

東京都
葛飾区
多摩市
世田谷区
豊島区
武蔵野市
調布市
足立区
国立市
港区
狛江市
中央区

神奈川県
横浜市
小田原市
鎌倉市
川崎市
開成町
三浦市
相模原市
横須賀市
藤沢市
厚木市
秦野市
葉山町
茅ヶ崎市
寒川町
真鶴町
松田町

新潟県
佐渡市
粟島浦村
妙高市
十日町市
新潟市
柏崎市
津南町
村上市

富山県
魚津市
南砺市
立山町
富山市

石川県
加賀市
金沢市
白山市

福井県
坂井市
福井市
大野市
鯖江市

山梨県
南アルプス市
甲斐市
笛吹市
上野原市
中央市
市川三郷町
富士川町
昭和町
北杜市
甲府市
富士吉田市
都留市
山梨市
大月市
韮崎市
甲州市
早川町
身延町
南部町
道志村
西桂町
忍野村
山中湖村
鳴沢村
富士河口湖町
小菅村
丹波山村

長野県
白馬村
池田町
小谷村
軽井沢町
立科町
南箕輪村
佐久市
小諸市
東御市
松本市
上田市
高森町
伊那市
飯田市

岐阜県
大垣市
郡上市
羽島市
中津川市

静岡県
御殿場市
浜松市
静岡市
牧之原市
富士宮市
御前崎市
藤枝市
焼津市
伊豆の国市
島田市
富士市

愛知県
豊田市
みよし市
半田市
岡崎市
大府市
田原市
武豊町
犬山市
蒲郡市

三重県
志摩市
南伊勢町
桑名市
多気町
明和町
大台町
大紀町
紀北町
度会町

滋賀県
湖南市

京都府
京都市
与謝野町
宮津市
大山崎町
京丹後市
京田辺市
亀岡市
福知山市

大阪府
枚方市
東大阪市
泉大津市
大阪市
阪南市
豊中市
吹田市
高石市
能勢町
河内長野市
堺市
八尾市
和泉市
熊取町

兵庫県
明石市
神戸市
西宮市
姫路市
加西市
豊岡市
芦屋市
三田市

奈良県
生駒市
天理市
三郷町

和歌山県
那智勝浦町

鳥取県
北栄町
南部町
米子市
鳥取市
境港市
日南町

島根県
松江市
邑南町
美郷町
出雲市

岡山県
真庭市
岡山市
津山市
玉野市
総社市
備前市
瀬戸内市
赤磐市
和気町
早島町
久米南町
美咲町
吉備中央町

広島県
尾道市
広島市
大崎上島町

山口県
下関市

香川県
善通寺市
高松市
東かがわ市
丸亀市

愛媛県
松山市
新居浜市

高知県
四万十市
宿毛市
南国市
高知市
黒潮町

福岡県
大木町
福岡市
北九州市
久留米市
大野城市
鞍手町

佐賀県
武雄市
佐賀市

長崎県
平戸市
五島市
長崎市
長与町
時津町

熊本県
熊本市
菊池市
宇土市
宇城市
阿蘇市
合志市
美里町
玉東町
大津町
菊陽町
高森町
西原村
南阿蘇村
御船町
嘉島町
益城町
甲佐町
山都町
荒尾市
球磨村

大分県
大分市
宇佐市

宮崎県
串間市

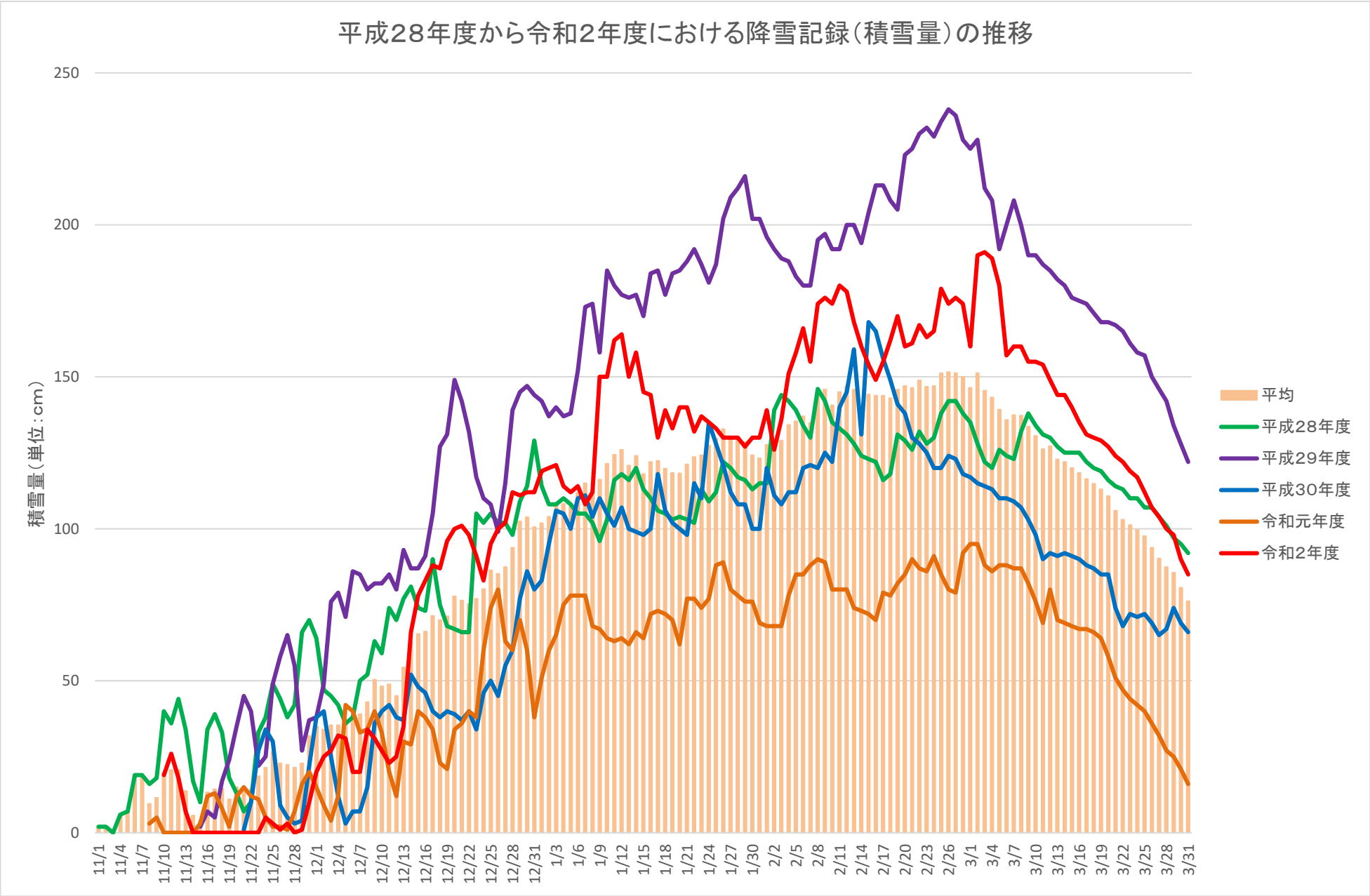
鹿児島県
鹿児島市
知名町
指宿市

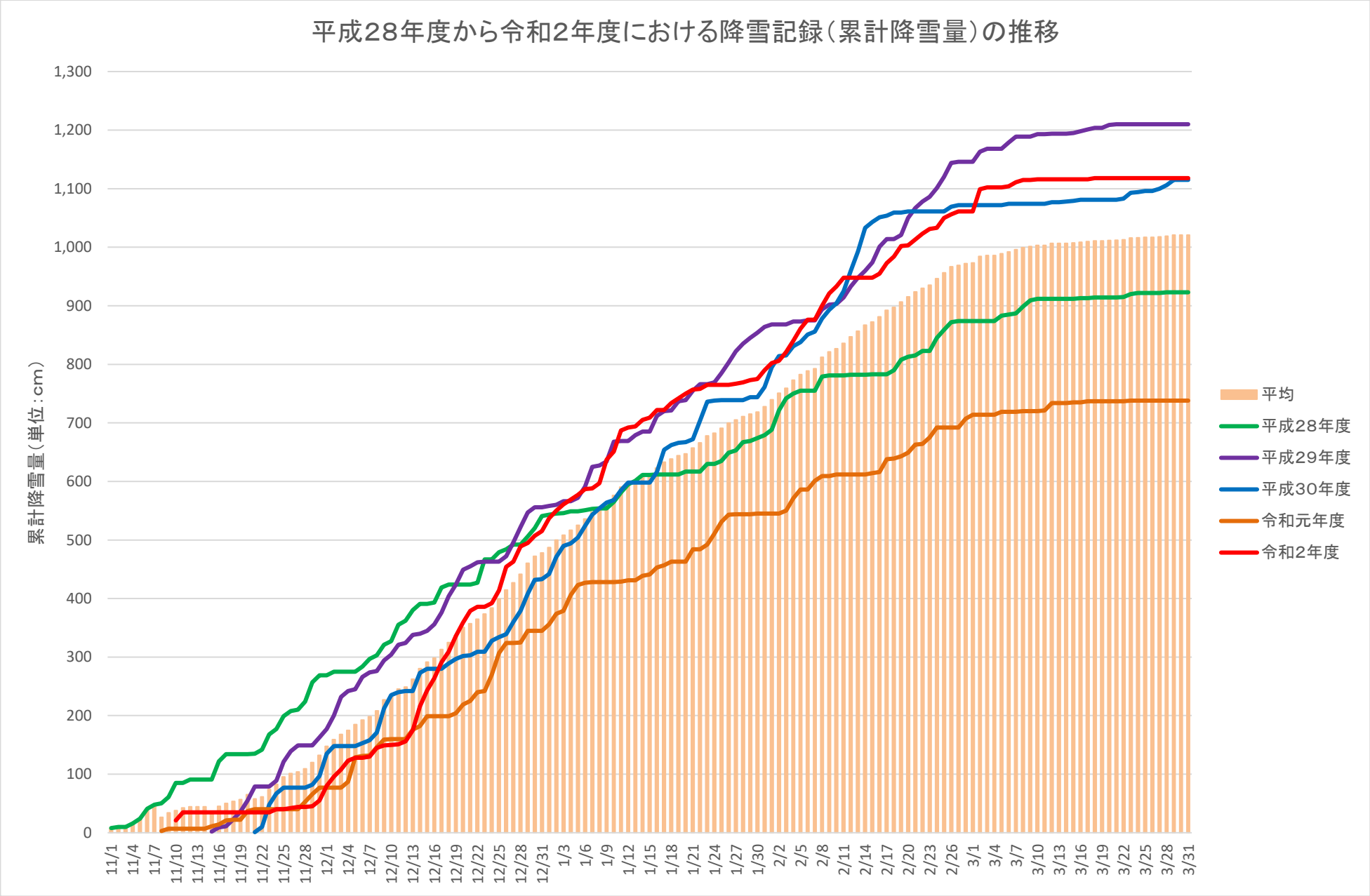
沖縄県
久米島町
竹富町

＊朱書きは表明都道府県、その他の色書きはそれぞれ共同表明団体、市区町村の表明のない都道府県名は省略

【町長】

通告順	２	質問 議員	鵜野議員
質問 項目	暮らしの安心センター木梁のひび割れ原因と今後の対策		
質問 内容	暮らしの安心センターは２０１７年１０月にオープンしました。 その年の１２月末に梁のひび割れが発生し、議会に報告があり、その時の原因として雪の荷重によるものではなく、温湿度環境により引き起こされたものであると調査報告がされました。 今回の梁のひび割れは３月１２日に発見され、議会に報告がありました。 その後の調査で、原因として設計業者からは「設計用積雪深を長期にわたり超過していたことが明らかであると推測できる」この事から今回のトラブルは、構造設計上や施工方法のトラブルでは無いため設計業者及び施工者の瑕疵にはあたらないと判断したとの報告を受けました。 これまでの、梁のひび割れの要因を町としてどの様に考えているのか 雪の荷重によるひび割れだとすると、利用者が安心して利用できるのか、安全性に問題がないか 今後の、施設の補修修理、管理をどの様にしていくのか		


平成28年度から令和2年度における降雪記録（積雪量）の推移
積雪量（単位：cm）
250
200
150
100
50
0
11/1
11/4
11/7
11/10
11/13
11/16
11/19
11/22
11/25
11/28
12/1
12/4
12/7
12/10
12/13
12/16
12/19
12/22
12/25
12/28
12/31
1/3
1/6
1/9
1/12
1/15
1/18
1/21
1/24
1/27
1/30
2/2
2/5
2/8
2/11
2/14
2/17
2/20
2/23
2/26
3/1
3/4
3/7
3/10
3/13
3/16
3/19
3/22
3/25
3/28
3/31
平均
平成28年度
平成29年度
平成30年度
令和元年度
令和2年度


平成28年度から令和2年度における降雪記録（累計降雪量）の推移
累計降雪量（単位：cm）
1,300
1,200
1,100
1,000
900
800
700
600
500
400
300
200
100
0
11/1
11/4
11/7
11/10
11/13
11/16
11/19
11/22
11/25
11/28
12/1
12/4
12/7
12/10
12/13
12/16
12/19
12/22
12/25
12/28
12/31
1/3
1/6
1/9
1/12
1/15
1/18
1/21
1/24
1/27
1/30
2/2
2/5
2/8
2/11
2/14
2/17
2/20
2/23
2/26
3/1
3/4
3/7
3/10
3/13
3/16
3/19
3/22
3/25
3/28
3/31
平均
平成28年度
平成29年度
平成30年度
令和元年度
令和2年度

【町長】

通告順	3	質問議員	上野議員
質問項目	町民が理解しやすい施設や事業の名称にすべきと思う。		
質問内容	公共施設の名称が解りづらく、場所を探すのに時間がかかるとの声が高齢者からあります。 又、昔は「町政懇談会」、「町づくり懇談会」、今は「ふるさと創造懇談会」と変更しましたが、何か町民にメリットはあるのでしょうか？ 施設を含め利用しづらくて町民本意に名称を変更する考えはありませんか？ 沼田にある温泉の各名称が多く利用者のお客様が館内で迷う事をなくすべきと思う。 名称よりも大切な事があると思うので、町民以外の人がすぐ解かる施設や事業の名称にして、子供達にも解かりやすくすべきと思うが町長の考えを伺いたい。		

【町長】

通告順	4	質問議員	上野議員
質問項目	沼田町の産業を発展させ人口増にすべきと思う。		
質問内容	沼田の基幹産業は農業ですが、沼田町には山林があり、林業を今以上に力を入れ、町の発展に繋げるべきと思う。 今、世界中で木材の高騰と新聞に出ました。沼田町の一社、木材会社がありますが、製材を休止していますが、是非復活させるべきと思う。 又、沼田の土を使った土管工場があり、農業の暗渠に使用されとても助かっていますが、塩ビ管も使用されるようになり、土管の利用が減ってきたとの声が聞かれます。 何十年経っても水が流れやすい土管の良さを、ＰＲを行政でも力を入れ、産業の発展と人口増に繋げるべきと思うが町長の考えを伺いたい。		

2021年
5月28日
金曜日

北海道新聞

発行所
北海道新聞社
〒060-8711
札幌市中央区大通西3-6
電話 011-221-2111
www.hokkaido-np.co.jp

米など住宅需要急増

新型コロナウイルスの流行に伴う在宅勤務やテレワークの普及を受け、米国などで住宅需要が高まり、世界的に木材価格が高騰している「ウッドショック」が道内にも波及している。輸入材の調達が困難になり、仕入れが停滞。一部で住宅着工に遅れが出ているが、注文が急増している道産木材も供給に限界があり、住宅産業全般に影響が広がっている。（芝垣なの香）

世界中で木材高騰

業者「対応しきれない」

道産材に注文殺到

「住宅建築が集中する夏の短い需要期に、尋常ではない事態が起きている」。カナダなどから木材を輸入し、道内の工務店に販売する丸十木材（帯広）の中田隆之社長は肩を落とす。

木枠に壁を張り付けて建てるツーバイフォー工法に使う輸入材の仕入れ値は、4～6月分を調達した2月時点で1立方㍍当たり10万円と、前年の2倍に上昇。まもなく調達する7～9月分は3倍以上になる見通し。柱や梁（はり）を組み合わせる軸組工法の輸入材は注文の半分しか入荷できていない。

札幌などでは住宅着工に遅れも生じ、工務店側は「高値でも売ってほしい」と要望するが、供給が追いつかない。輸入材販売のアサノ（大阪）の札幌営業所は、夏場の道内入荷量が昨年から半減するとみて受注の一部を断っている。道内の住宅メーカーは「値上がり分を吸収しきれない」としており、販売価格への転嫁は避けられない見通しだ。

米国ではコロナ禍を受け、郊外での住宅着工やDIY需要が急増。木材の先物価格がこの1年で6倍に跳ね上がった。経済活動が回復基調にある中国では、同国企業がオセアニアから建材を大量に買い付けるなど世界的に獲得競争が過熱。木材を海上輸送するコンテナの不足も輸入材調達を一段と難しくしている。

こうした中、道産材にも注文が殺到。道南スギの活用に力を入れる製材業ハルキ（渡島管内森町）には2月以降、米国や台湾からも問い合わせがあり、半年先まで予約で埋まった。同社は道内企業を最優先に販売しているが、「ありがたいが極端で、対応しきれない」と困惑気味だ。

道産材は主に梱包（こんぽう）材にいられ、建材加工用のや担い手は不足気味だ道が残雪で閉ざされてを搬出できないなど、増産は難しい。輸入材が落ち着けば需要が急る恐れもあり、設備投も慎重にならざるを。北海道木材産業協合連合会の内田敏博副は「道産材への注目を性にせず、安定的な向けて関係団体が知恵るときだ」と指摘する。

丸十木材の輸入材。世界的な木材需要増で調達が難なっている（井上浩明撮影）

TOKYO 2020

オリンピック まで 56日
パラリンピック まで 88日

5分でわかる

日ＥＵ首脳「台湾安定」で一致 2

菅義偉首相はＥＵ定期首脳協議で、台湾海峡情勢について「平和と安定の重要性」の認識で一致。

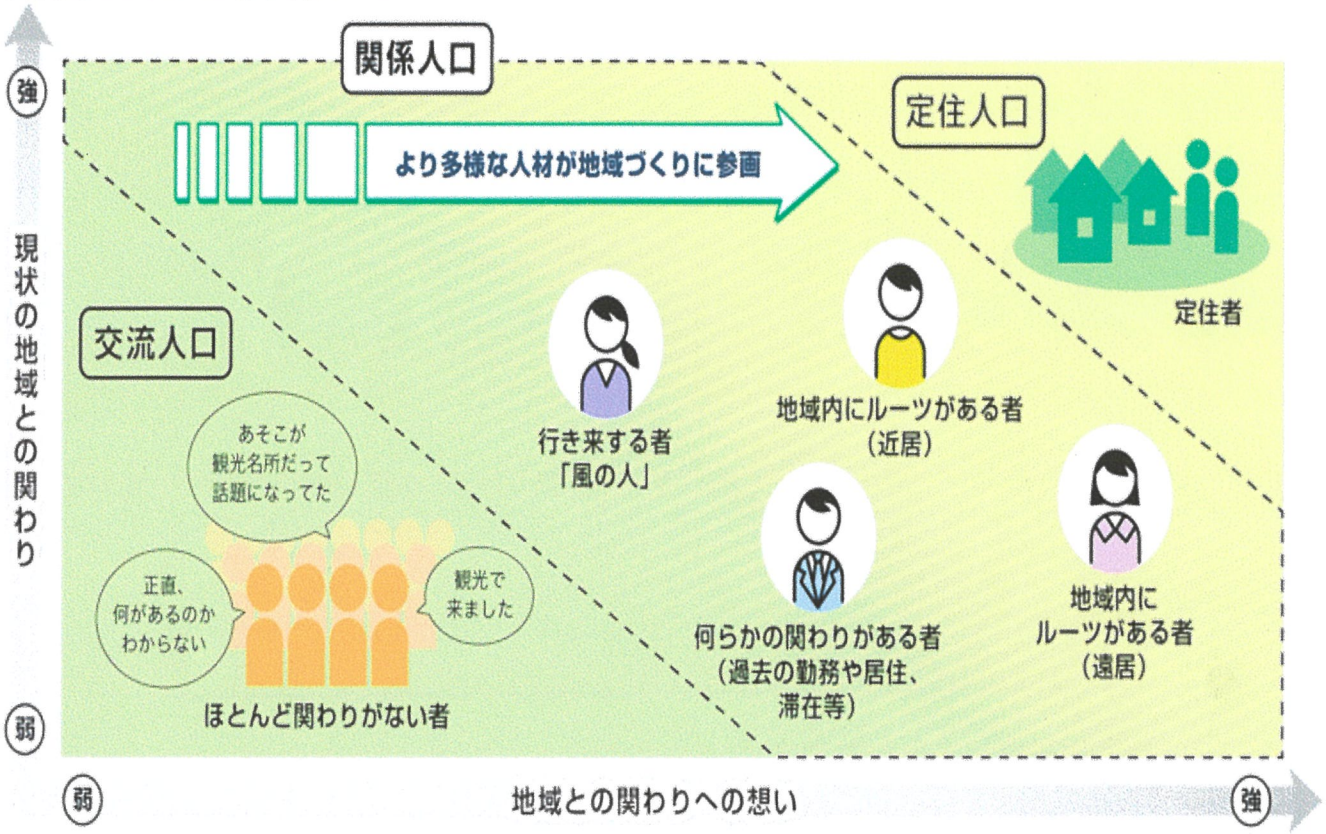
石勝線脱線事故10年 新たな課題 3
ＪＲ石勝線で79人が負傷した脱線炎上事故から10年。利便性と安全性の両立など新たな課題が浮上している

ファーストフォーカス FOCUS

【町長・教育長】

通告順	5	質問議員	高田議員
質問項目	高穂スキー場整備計画はこれでいいのか		
質問内容	現在、高穂スキー場整備計画が取り纏められています。複数年にわたりますが、総額で約５億円の大事業であります。単に体育施設の老朽化に伴う施設の更新事業に止まることなく、「観光客の集客」や「関係人口の増加」に向けた取り組みを期待しています。 予算委員会の時も指摘しましたが、施設の整備だけが議論されています。６月３日の全員協議会の説明では夏季の施設利用の説明がなされました。しかし観光の域は脱しておらず限定的であり、関係人口へのアプローチは何ひとつありませんでした。 「移住定住」や「ふるさと納税」を効率的に進めるためには、何もしなかったら観光客として通り過ぎてしまう「交流人口」を「関係人口」にする「きっかけ」と「アプローチ」が必要です。 地方創生の第２期計画を策定するとき話題になった「関係人口」と言う言葉ですが、総務省のホームページでは４つのタイプに分類されています。「沼田町高穂スキー場」が持っている冬季間における本来の特徴を生かし、それぞれのタイプ毎に「交流人口（観光客）を関係人口にする施策」を用意するべきです。 施設の設置目的に関しては町長に、計画の策定過程に関しては教育長にそれぞれ考えを伺う。		

交流人口と関係人口



総務省HPより引用

交流人口の「縁」と「感情」・関係人口への「きっかけ」と「アプローチ」

Ver. Numata

行き来する者（風の人）

楽しくて何度も来てしまう　→ リピーター化

「初めて夜高あんどんを観に来ました、来年も来ます」

→夏の間沼田に住んで、あんどんを作って祭りに参加しませんか？
町の人と交流しながら「ちょこっと暮らし」が体験出来ます

何らかの関わりがある者（過去の勤務や居住）

忘れられない思い出（人・事）→ 第二の故郷化

「沼田小学校に勤務しているとき、妻と結婚しました」

→リタイアしたら、沼田に家を建てませんか？
新築するなら、最大数百万円を助成する「定住制度」があります
中古住宅の購入にも、助成する「定住制度」を用意しています

地域内にルーツがある者（近居）

いつか故郷にもどりたい　→ 町の出身者

「子供の頃は沼田に住んでました、化石に興味があります」

→化石ボランティアをして下さい、沼田から通勤しませんか？
仕事は今のままで、町外への通勤には「通勤手当制度」があります

地域内にルーツがある者（遠居）

子供の頃よく遊びに行った　→ 懐かしい祖父母の故郷

「沼田に住んだことはありませんが、祖父母のお墓があります」

→沼田にお墓参りに来て、沼田のイベントを体験しませんか？
「ぬまた応援隊」になって、沼田のことをもっと知って下さい

【町長】

通告順	6	質問議員	久保議員
質問項目	『除雪組合』を作り、除雪の空白地帯を作らない。		
質問内容	降雪の日時や量は、年度前の予算化の時期には分かりません。過大な投資をしても、過少に抑えても、現実の降雪とミス・マッチをすれば、どちらも町民の不利益になります。そこで役場の「インフラ」と、民間業者の「技術」と、町民の「声」の組合せによる、きめこまやかな機能と目配りを持ったオールぬまた『除雪組合』を作り、除雪の空白地帯を作らない事業が効果的です。 1問 『除雪組合』の設立が必要ではないか。 考えられる構成員は、「役場」、「町内で重機による除雪や、屋根雪下ろしなどすべての業者」、「融雪溝管理運営協議会」、「自治振興協議会」など。 意見や情報の交換をするタイミングは、「降雪シーズンの前後」、役場が大雪などの警報を発令した直後や『大雪対策本部』などを設置した時。 2問 『除雪組合』による情報の共有で、公平で、きめこまやかな除雪を。 ・次の高齢者世代などの屋根雪除雪助成＝不幸を繰り返さないために。 ・除雪車に付いたシャッターで通過後に左右にこぼれる「置き雪」を除去。 ・融雪溝ルールの見直し。例えば「雪が30cm降ると、排雪する。」など。 ・公営住宅の利用者への除雪助成金は年齢基準ではなくて、棟ごとに。 ・町民が担当の開発局や土木現業所と直接に意見交換をする場を作る。 3問 空き地を、雪の置き場にする有効利用で、排雪の負担を軽減。 雪の処理のより大きな負担は、除雪よりも排雪です。約10年前に、排雪の負担を軽減するために数個の巨大な融雪溝を作る議論をしました。しかし、当時も今も、経費がかからずより効果的なのは、町民が近い距離で排雪ができる雪の置き場『スノー・プール』です。ゴミ集荷システムのように、町内会ごとの空き地を活用した『スノー・プール』に町民や業者が雪を堆雪し、定期的に役場が雪を河川敷などへ移動し排雪するシステムが効果的です。 以上、豪雪地帯の交付税の割増し算入の恩恵を町民に還元し、除雪業者の持続的な新規参入を促し、長く住みたくなるまちづくりを目指しましょう。		

除雪車シャッターで「置き雪」を除去。

▼2009年1月16日　毎日新聞

道開発局

「置き雪」除去の実験

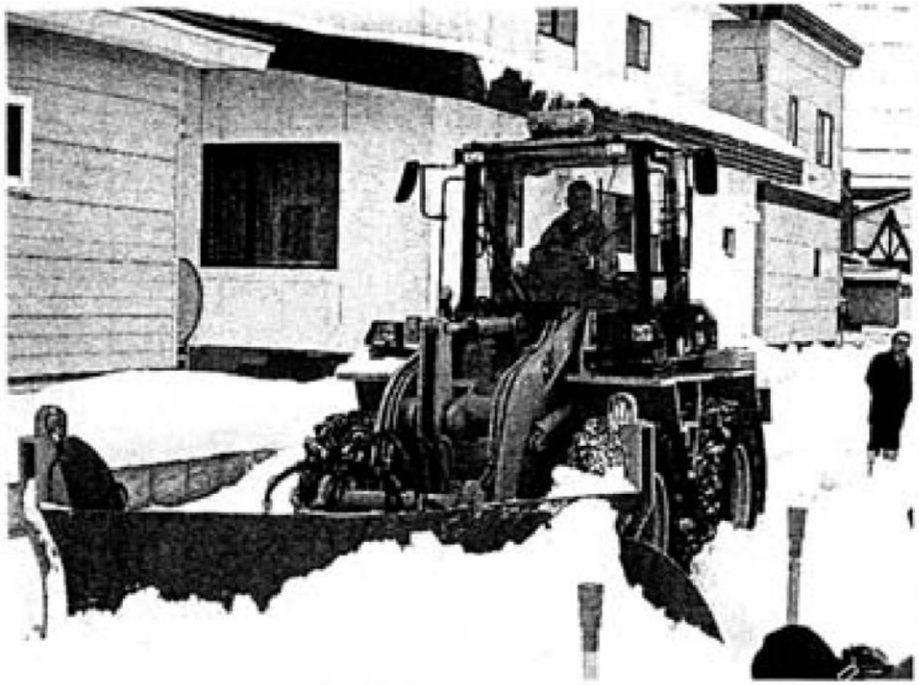
美幌の住宅街　新型除雪車で検証

北海道開発局は除雪車が通過した際に左右に雪がこぼれる「置き雪」を減らそうと、新型除雪車（8トン）による実験を、網走管内美幌町の住宅街をモデル地区で始めた。狭い場所でも雪を除去できるかなど作業効率を検証する。

置き雪は、核家族化と高齢化の進展とともに苦情の種になっており、特に住宅街では「自宅前の置き雪が氷の塊になり、重労働を心配する高齢者が増えている」（美幌町）。

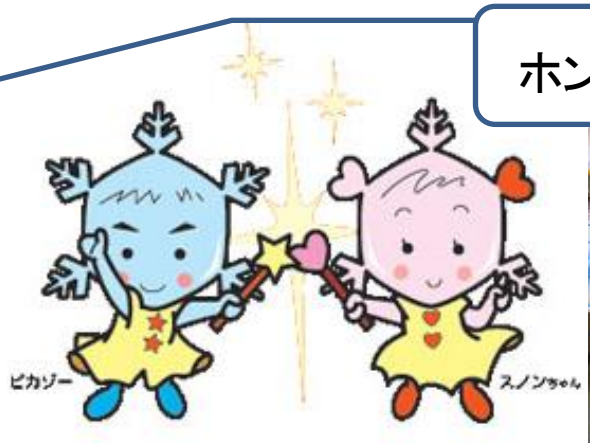
除雪車は旭川市の機械金物製造会社「オノデラ」が開発。雪を抱える正面の刃（ブレード）の両側の端に取り付けた「シャッター」が雪が置き去りになるのを防ぐ役目を果たす。住宅街の壁や塀際など狭い場所でも楽に作業ができるという。

実験は14日から2月13日までの1カ月間。開発局はデータを報告書にまとめ、豪雪地の自治体に提供する。【渡部宏人】

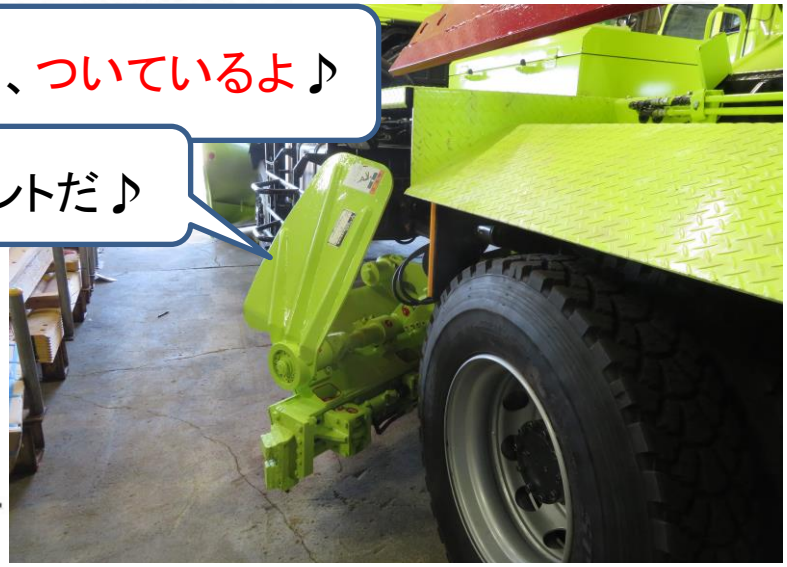


置き雪の解消などを目的に開発された新型除雪車＝網走管内美幌町で

すでに開発局の除雪車にも、シャッターは、ついているよ♪

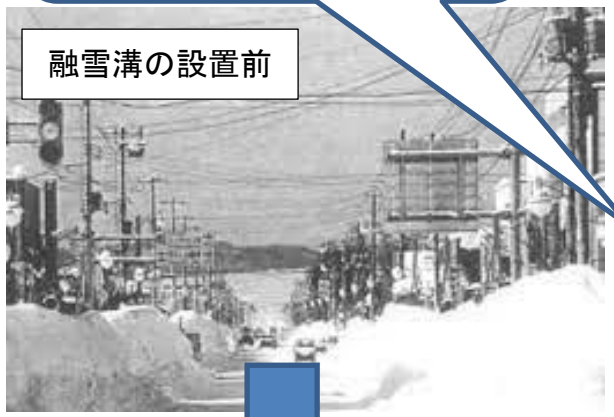


ホントだ♪



高齢化時代の融雪溝の課題は解決されたか？

除雪車のシャッターを活用すれば解決か？



雪を入れる住民パワーはいつまで？

2003年2月1日　融雪溝の利用者アンケート

『沼田融雪溝の維持管理における住民参加について』（抜粋）札幌開発建設部 深川道路事務所 ○近江 隆洋
竹本 勝美
沼田町役場 建設課 谷 口 勲（それぞれ当時）

＜除雪作業に関する要望・課題＞

●道路の雪まで民間の人がはねるとは少々おかしいと思います。歩道の雪はそんなにない（４０代男性）。
●車道の雪を処理しなければならず、これまでの３倍は時間がかかる（男性・年代 不明）。
●除雪した雪を融雪溝の上に置いて行かないでもらいたい（４０代男性）。
●自宅の前だけの除雪ならとても良い融雪溝 。しかし国道の固い雪を排雪するのはキツイ（２０代女性）。
●老人家庭です。現在の高齢化社会を考えないで役所の考えだけで発想した処に無理がある。やがて雪を入れること出来ない家庭が出来ると思う（７０代以上男性）。

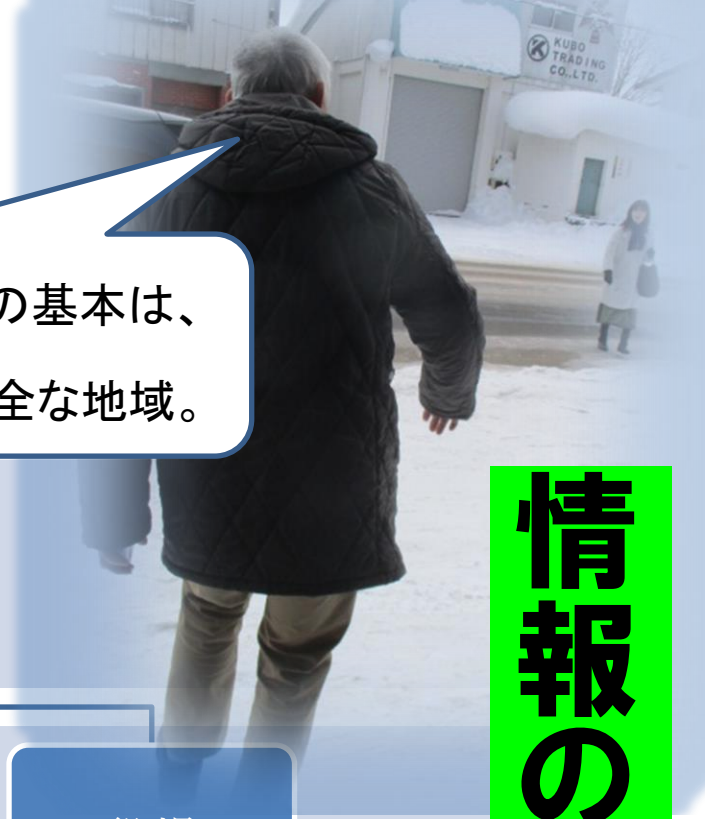
＜まとめ＞

住民の投雪に関する問題が大きいことを示した。融雪溝は、地先住民の協力が前提で整備されているが、処理能力、交通安全対策、蓋の構造などに満足できていないため、何らかの対策が必要であると考えられた。処理能力に関しては、車道及び歩道を前提として整備しているが、実際の排雪は民地の雪も投雪されているため、降雪量によっては、処理能力を超える場合があり、沿線住民の協力が必要である以上、ある程度民地の雪も処理できることが望ましいと考えた 。また、性質上ボランティア・サポートにはならないが 、除雪器具などの貸与、災害保険の費用負担の検討も必要だということを提案したい。特に災害保険の導入は、平成１４年１１月に開催された 「沼田融雪溝管理運営協議会」総会での要望事項であることから、今後、関連市町村への聞き取り調査などを行い、検討する必要があると考えられた。

流・融雪溝施設は地元の協力があって成り立つものである以上、沿線住民が作業しやすい環境を第一に考え運用していくべきと考える。公共施設の維持管理については 管理者単独での運用管理ではなく、地域住民参加の意識高揚が図られるような措置を講じて行く必要もあると思われる。

最終的に 沼田町除雪組合

「歩いて暮らせるまちづくり」の基本は、
除雪が行き届いた安心＆安全な地域。



情報の共有！

個人では持続可能が厳しいのなら・・・

有機的に深化

地域力

除雪する人を育てなければ、住む人がいなくなる。

町民　民間業者　役場

国道・道道・町道
わけへだてなく♪

融雪溝管理運営協議会　自治振興協議会　開発局　土木現業所

・社会福祉協議会の見守りサポート「はあとふる沼田」も、活用。

・盲点は、「次に高齢者になる世代」。そこで事故が起こりやすい。

除雪難民を、撲滅！

【町長】

通告順	7	質問議員	伊藤議員
質問項目	地域おこし協力隊の将来を見据えた支援について		
質問内容	本町では、地域おこし協力隊の制度を活用して、多くの隊員を募集し、活動されています。協力隊の活動は、様々な情報発信を始め、地域の活性化や新たな産業の創出など、本町にとりまして欠かせないものとなっています。 協力隊の皆様は、３年間の活動期間後、沼田町内において起業、就業するなどして定住に向けた取り組みを行っていますが、起業については、事業が安定し、生活するための収支がなければ、継続的な事業とはなりません。本町で活動した隊員が３年間の期間を経て、定住に結びつけるための質問をいたします。 １．起業する事業の成功率を上げるために協力隊員にどのような支援を行っているのか ２．自立に向けた任期中の計画、並びに退任後の計画について職員との意思疎通や指導は十分に行われているのか ３．有害鳥獣駆除員として活躍された隊員が退任され、新たに本年度より１名を任命されたが、退任後も活動できる環境を整えるべきではないか		

【町長】

通告順	8	質問議員	篠原議員
質問項目	安心センターの屋根雪下ろしに基準の再検討が必要では		
質問内容	暮らしの安心センターの屋根雪に関しては、これまで基本的には雪下ろしが必要の無い設計上の強度が確保されているという議論がありました。一方で、基準の積雪量を超えたために緊急的に雪下ろしをするという状況もありました。 そのような経過の中で、今年３月に再び天井の梁に亀裂が入る事案が発生しました。その時に臨時に床との間に棒を入れて支えていたということは、万が一に雪の重みで天井が崩落することを防ぐための対応とも想像できます。その後雪が解けたあとに棒がゆるくなったため撤去したと聞きましたが、そのことは天井が雪の重みに耐えられるかどうかは別として、荷重により梁がたわみ荷重がなくなったことにより元に戻ったということを示していると思います。梁に生じた亀裂は荷重によるたわみが原因と言えるのではないでしょうか。 近年の雪の降り方は一度雪が積もったあとに雨が降り、積雪量は減っても重さが増す傾向があります。見た目の雪の量だけで判断すると三度同じようなことが起きるかもしれません。施設内で働く方々や利用する町民が不安なまま過ごすことのないよう、雪下ろしの基準を見直す必要があるのではないかと考えます。町長のお考えを伺います。		

【町長】

通告順	9	質問議員	篠原議員
質問項目	職員と来庁者の健康を守るために換気型の冷房が必要では		
質問内容	新型コロナウイルスの感染拡大が始まってから１年半が過ぎようとしていますが、いまだに感染者が出る状況が続いています。町もこれまで国からの臨時交付金も活用して様々な対策を打ってきました。その中には飛沫拡散防止のアクリル板や、換気のための網戸設置もありました。これらはコロナ対策という点では有効ですが、夏場の猛暑対策を想定してものではありません。気候変動の影響により、北海道でも平均気温の上昇や梅雨が生まれたかのような長雨の影響があり、窓を開けられない場合には蒸し暑い室内環境が生じます。これではコロナに打ち勝っても熱中症が心配ですし、業務効率にも影響します。そんな中で、近年は技術開発が進み、換気と同時に冷房ができる機器が登場しています。 近隣自治体ではこの間いち早く学校へのエアコン導入を決めた町もあります。また、化石体験館のような展示施設ではそもそも日光や外気が入り込むことは避けなければなりません。コロナは終息しても地球温暖化が今後も進む状況において、役場や教育施設に換気型冷房機導入を検討することは、新たな感染拡大を防ぎつつ熱中症対策もできるという一石二鳥の効果を発揮すると考えます。そこで以下について町長の見解を伺います。 職員や利用者の健康維持の観点から、町内の公共施設における夏場の室内環境の現状をどのように評価していますか。 換気対応型の冷房システムについて情報収集、さらには導入の検討をされたことはありますか。		

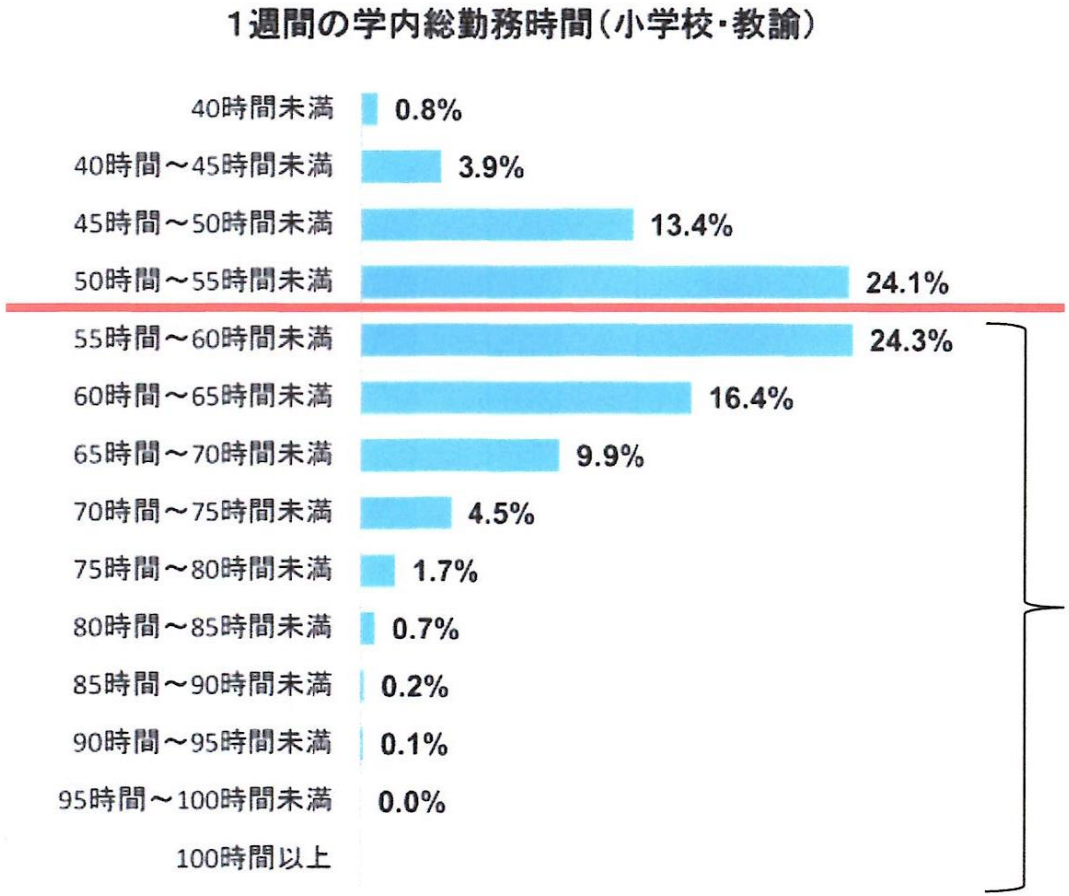
【教育長】

通告順	１０	質問議員	篠原議員
質問項目	ステイホーム期の文化財普及戦略は		
質問内容	現在新型コロナの影響で外出が規制されています。多くの自治体では博物館などが閉館となっている中、沼田町では文化財関係の施設が町民限定とはなっているものの閉館していません。感染症対策を徹底して運用を続ける努力をされていることに敬意を表します。 また、この春から新たに化石専門の学芸員が採用され２名体制に戻ったことで、近隣の関連施設関係者からも沼田町の文化財に対する思い入れの強さが大変注目されている、ということを報告させていただきます。 一方で、現状のままでは貴重な化石や文化財が埋もれてしまう心配があります。現地に行くことが困難になりパソコンやスマホの利用が拡大している今は、むしろこれらの文化財をネットを通じて世界へ積極的に発信する好機ととらえることができます。来場者が少ない今だからこそ、落ち着いて情報発信に取り組むことができる状況だと思います。 情報発信に必要なのは「技術」ではなく「思い」と「継続」ではないかと考えます。大きな博物館では最新の VR など先端技術を使って見栄えのするコンテンツを発信していますが、自分たちにできる方法で発信を続けることが大切です。例えば、ホームページの構築にはある程度のプログラミング知識が必要ですが、現状で教育委員会が取り組んでいるブログを少し工夫すればホームページのようなものを構築することもできますし、更新も容易です。文化財のイラストマップは過去のものは情報の更新が必要ですが、新しくしたものを恵比島の駐車場脇の看板に設置してはどうでしょうか。 コロナが終息したときに、「待ってました」というお客さんを呼び込むためには、今のうちに基礎作りが必要ではないでしょうか。教育長のお考えを伺います。		

【教育長】

通告順	１１	質問議員	長野議員
質問項目	学校の働き方改革と沼田の教育の両立を		
質問内容	令和３年度は、沼田町一貫・連携教育第３期（Ｒ１－３）の最終年度となります。これまで進めてきた、一貫・連携教育の成果と課題を整理し、改善に向けて検討を進め、次の４期につなげるとされています。 時を同じくして、平成３１年１月、文部科学省から「学校における働き方改革の実現」が、通達されました。 先進的な一貫・連携教育第３期を進めると同時に、教職員の多忙化を解消し、社会全体で子ども達を育む発想の転換が、求められる時代になりました。 文部科学省、北海道教育委員会から、様々な先行事例が示されています。 沼田町では、他の市町に先駆け、ギガスクールの環境を整えました。また、５月２３日の、小・中学校グラウンド美化一斉運動では、約１００名の町民ボランティアの協力を得られ、「町民みんなが学校応援団」という大きな後押しの中に、働き方改革のヒントもあるのではないでしょうか。 そこで、先生方の本来の業務は、「教材研究と学級事務である」の考えに基づき、それ以外を以下のように進めてはどうか。 １　会議の短縮➡クラウド（ネット上のサーバーなど） 職員会議 15 分。研修 30 分。校内 LAN のフォルダで、事前閲覧、周知。全員でいる時間を減らし、自分で使える時間を確保することで、子どもに還元してはどうか。 ２　留守番電話サービス 17 時を過ぎると繋げないシステムの導入。緊急時のみメール対応を受ける。 学校閉庁日は、教頭に繋がる仕組みはどうか。 ３　コロナ禍による消毒スタッフ及び消毒ボランティアの配置 コロナ禍により毎日、放課後の消毒作業が、先生の業務にかぶさっていることの軽減を図ってはどうか。 ４　コミュニティスクールによる働き方改革のアイデアを生み出す仕組みを作ってはどうか。 このことを踏まえ、先生が働きやすくなるために何が必要で、学校の働き方改革と沼田の教育の両立をどのように進めていくのか。教育長の考えをお聞きします。		

日本の先生たちは働き過ぎている。

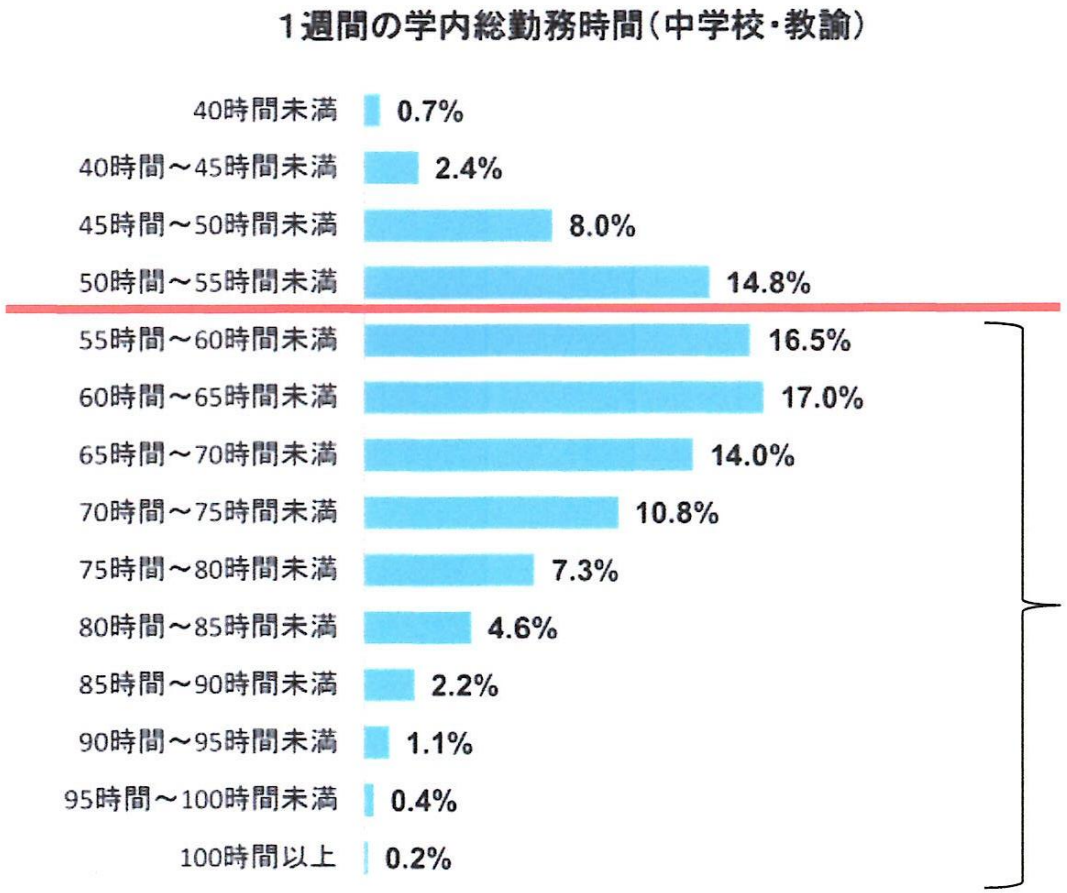


《小学校》
自宅残業（平均で週約5時間）
を含むと
約6割（57.8%）が
過労死ライン

※「教諭」について、平成28年度調査では、主幹教諭・指導教諭を含む。
※1週間当たりの正規の勤務時間は38時間45分。
※上記グラフは、勤務時間から本調査の回答時間（小学校64分、中学校66分）を

文科省「教員勤務実態調査」（2016年実施）

日本の先生たちは働き過ぎている。



《中学校》
自宅残業（平均で週約5時間）
を含むと
4人に3人（74.1%）が
過労死ライン

文科省「教員勤務実態調査」（2016年実施）

【町長】

通告順	１２	質問議員	大沼議員
質問項目	一般行政（生活困窮者に声がけを）		
質問内容	厚生労働省の発表では、生活保護の申請件数が7か月連続で増加しておりR3.3月での申請件数は、全国で2万2839件、前年比1809件（8.6%増）になっています。 厚生労働省は、新型コロナウイルスの影響が長期化する中、再就職が難しいことなどから生活が苦しく追い詰められる人が増えていると分析し引き続き重層的なセーフティーネットによって困窮している皆さんの生活を支えていきたいとしています。 緊急小口資金などの特例貸付の申請期限が8月末まで延長されていますし、新たに７月から困窮者支援策（３ヶ月で最大３０万円　無利子）が始まります。 しかし、特例貸付では困窮を一時的にしのぐには有効的だが、生活再建ができた家庭はほとんどないとされています。 困窮者は社会的に孤立しやすく相談体制の充実や就労機会の提供など多様な支援策が急務とされています。明日を拓く支援が必要と言われていますので、ハローワークとの話し合いや社会福祉協議会の横の連携を使うなどして生活困窮者に移住を促すことができないかお尋ねします。		